（別紙様式４）

令和5年7月31日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
ミス・パリエステティック専門学校	平成20年3月6日	三浦　スミヱ	〒　530-0057 （住所）　大阪府大阪市北区曽根崎2-2-18 （電話）　06-6311-7011
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人　ミスパリ学園	平成20年3月6日	理事長　三浦　スミヱ	〒　530-0057 （住所）　大阪府大阪市北区曽根崎2-2-18 （電話）　06-6311-7011

分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
文化・教養	エステティック専門課程	トータルビューティ学科	平成23(2011)年度	－	平成28(2016)年度

学科の目的	企業で実施されている技術、理論及び社員教育研修の一部をカリキュラム化し、学校に導入をする。それにより企業の求め人材育成が可能となり、より職業に直結した実践的な教育を行うことを目的とする。
学科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	エステ・メイク・ネイル・ブライダル・脱毛などのトータルビューティを学び、最大13種類の美容に関する資格の取得を目指す

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間及び夜間	※単位時間、単位いずれかに記入	2,085 単位時間	1,035 単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	1,050 単位時間
			単位	単位	単位	単位	単位	単位

生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数（生徒実員の内数）(B)	留学生割合(B/A)
240 人	190 人	1 人	0 %

就職等の状況

■卒業者数 (C)	: 60	人
■就職希望者数 (D)	: 52	人
■就職者数 (E)	: 52	人
■地元就職者数 (F)	: 40	人
■就職率 (E/D)	: 100	%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)	80	%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)	87	%
■進学者数	7	人

■その他

留学予定者1名

（令和　　４年度卒業者に関する令和４年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和4年度卒業生）

ミス・パリ・グループ（(株)シェイプアップハウス、㈱ミス・パリ）などエステティック業界

第三者による学校評価

■民間の評価機関等から第三者評価：　無

※有の場合、例えば以下について任意記載

評価団体：　　受審年月：　　評価結果を掲載したホームページＵＲＬ

当該学科のホームページURL

https://www.miss-paris.ac.jp/osaka/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

（Ａ：単位時間による算定）

総授業時数	2,085 単位時間
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	1,185 単位時間
うち企業等と連携した演習の授業時数	390 単位時間
うち必修授業時数	2,085 単位時間
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	1,185 単位時間
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	60 単位時間
（うち企業等と連携したインターンシップの授業時数）	120 単位時間

（Ｂ：単位数による算定）

総授業時数	0 単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	0 単位
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位
うち必修授業時数	0 単位
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位
（うち企業等と連携したインターンシップの授業時数）	0 単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	0 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	3 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	6 人
計		9 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	5 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

①企業で行っている教育内容の一部を本プログラムに導入し、技術レベルの高い教育を行う事により即戦力人材を育成する。
②就職後のミスマッチを未然に防ぐため、より実践的な教育内容とする。
③定期的に教育プログラムの見直しを行い、学校、企業のニーズを相互確認する。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
①企業及び業界団体関係者を含めた委員会を開催し、新しい知識や技術、接客マナーなどの社会人として必要とされていることについて意見交換を実施し、学校関係者評価委員会の評価結果と併せて、カリキュラムの工夫や改善を検討する。
②教育課程編成委員会で検討したカリキュラムに基づき、学校主導でカリキュラムの見直し及び決定を行う。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
三浦　スミヱ	ミス・パリ　エステティック専門学校　校長	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	―
大平　愛	ミス・パリ　エステティック専門学校　副校長	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	―
福原　史	ミス・パリ　エステティック専門学校　教育課　主任	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	―
大島　由衣	ミス・パリ　エステティック専門学校　教育課	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	―
田垣　真	ミス・パリ　エステティック専門学校　教育課	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	―
須賀谷　映子	NPO法人　日本スパ・ウエルネス協会 教育委員長	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	①
吉田　知子	株式会社シェイプアップハウス　教育部　課長	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）
年2回 （3月、9月）

（開催日時（実績））
令和4年度　第1回　令和4年9月26日　10:30～12:30
令和4年度　第2回　令和5年3月3日　13:00～15:00
令和5年度　第1回　令和5年9月29日　14:00～16:00　開催予定
令和5年度　第2回　令和6年3月　開催予定

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
①コロナに関する規制緩和が進み、だんだんと学生の雰囲気が明るくなっている。その状況も踏まえて、授業の在り方としてオンライン型と対面型の授業の工夫を提案されていたが、現状は組み合わせなどを工夫し学生が安心で満足出来るカリキュラムを維持できている。
②香り＝感性学という学問があり、ビューティ＆ウエルネス研究会での発表を参考に授業への導入を検討する。
③学生が満足できるカリキュラムを履修しながら、職業に付く際に必要とされる技術や資格を身に付けられるようにコース選択においては、きちんと説明した上で学生が選択できるようにしている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
①実際の店舗で行われている接客・技術を中心とする教育プログラムとし、接客業に不可欠な社会的基礎力を習得する。
②企業の現場で目指す接客・技術・知識のレベルの考え方を基本に教育する。
③すべての項目において、現場に顧客に満足を与えることを第一に考えた教育をする。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
①企業の社員が先輩として、現場で経験した失敗例、成功例、失敗から学んだ事、アドバイスなどをする。
②現場で通用する接客・技術・知識の実習プログラムとレベル試験を、企業の新人社員研修と同様に行う。
③現場顧客の要求等の最新情報を伝える。
④企業教育担当者が最終評価表に基づき、各種技術・接遇マナーについて学生の評価を行う。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
フェイシャル技術実習	美顔トリートメントなどのフェイシャル基礎技術を徹底して指導すると共に、エステティックサロンでの現況を学び、必要な知識情報を取り入れ、より実践的な技術を学ぶ。	株式会社シェイプアップハウス
ボディ技術実習	基本6手技を用いて行うボディトリートメントなどの基礎技術を徹底して指導すると共に、エステティックサロンでの現況を学び、必要な知識情報を取り入れ、より実践的な技術を学ぶ。	株式会社シェイプアップハウス
関連技術実習（脱毛）	毛根からの処理を施す美容電気脱毛技術を徹底して指導すると共に、エステティックサロンでの現況を学び、必要な知識情報を取り入れ、より実践的な技術を学ぶ。	株式会社シェイプアップハウス
サロンワーク	サロンでの実際の動きを想定し、オープンキャンパス等でのお客様対応がスムーズに出来るよう、接客面でのレベルアップを目指す。	株式会社シェイプアップハウス
キャリア教育	卒業生に実際に働いてみた感想・学生時代に取組んでおけば良かったことなどの講話を依頼し、社会人になる前の不安を解消しながら、今やるべきことや将来働く事への意欲を持たせる。	株式会社シェイプアップハウス

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記
①年2回の研修を実施。研修により最新の業界の知識や技能などの情報に加え、社会に求められている人材の情報を基に、カリキュラムに落とし込む。
②教職員の能力、資質の向上を図り、学生へよりよい学習環境を整える。

（2）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　クレンジングマッサージにおける、技術・デモンストレーションの統一研修　　連携企業等：株式会社シェイプアップハウス
期間：　2023年3月30日　　対象：トータルビューティ学科担当講師
内容　企業内の技術試験合格を目指すために、マッサージのポイントや指導時の注意点などを確認

研修名：　実技試験の統一　　連携企業等：日本スパ・ウエルネス協会
期間：　2022年8月9日　　対象：トータルビューティ学科担当講師
内容　ビューティセラピスト試験の合格基準の確認、試験時のモデル選定の確認

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　ペップトークとは　　連携企業等：株式会社シェイプアップハウス
期間：　2022年8月12日　　対象：トータルビューティ学科担当講師
内容　学生や周囲の人を励ます時に使う「ショートスピーチ」について

研修名：　教科書改訂に伴う研修　　連携企業等：日本スパ・ウエルネス協会
期間：　2023年3月20日　　対象：トータルビューティ学科担当講師
内容　資格試験改訂に伴う研修

（3）研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　技術研修　　連携企業等：株式会社シェイプアップハウス
期間：　2024年3月28日　　対象：トータルビューティ学科担当講師
内容　ボディ専門技術についての指導方法確認

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　資格試験改訂に伴う研修　　連携企業等：日本スパ・ウエルネス協会
期間：　2024年3月29日　　対象：認定協会講師
内容　資格試験の改訂内容について

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針
学校関係者として、関連企業などを含む学校関係者評価委員会を組織し、其々の知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。評価内容はISO管理と連携して、教育活動及び学校運営等の組織の継続的な向上に活用されている。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	学校のビジョン及びそれを実現するための方針作成並びに理解
(2)学校運営	事業計画等の沿った運営方針の策定
(3)教育活動	教育内容は、教育理念・教育目標とその一貫性
(4)学修成果	学生の就職に関する目標設定とその成果
(5)学生支援	学生の心身面での管理・支援体制
(6)教育環境	教育目標達成に必要な施設・設備・教材の整備
(7)学生の受入れ募集	学生募集の計画とその成果
(8)財務	適正な予算管理の執行
(9)法令等の遵守	法令及び、専修学校設置基準の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源・施設を活用した社会貢献と地域貢献
(11)国際交流	留学生規定の整備

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況
進級率・卒業率アップの目標や継続的な学校環境の向上に努め、自己評価及び学校関係者評価の意見を基に、就職後に役立つ資格取得を目標にカリキュラムやシラバスを作成している。企業や業界が求める技術・知識・接客を徹底して指導し、就職希望者に関しては、全員正社員で採用を頂いている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名　前	所　　属	任期	種別
東　千晶	株式会社シェイプアップハウス　人事部　部長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
杉原　昭二	学校法人ミスパリ学園理事、評議員	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	学校評議員
須賀谷　映子	NPO法人日本スパ・ウェルネス協会　教育委員長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	業界団体等委員
越川　治枝	株式会社シェイプアップハウス　教育部　部長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(　　))
URL:　URL:https://www.miss-paris.ac.jp/osaka/info/
公表時期:　令和5年7月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
当該学科は、即戦力人材を育成、輩出することを基本方針としていることから、卒業生の就職状況、資格取得状況等を企業に定期的に報告し、教育連携の成果を確認する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の沿革、教育理念
(2)各学科等の教育	目指せる資格、卒業後の進路
(3)教職員	講師紹介
(4)キャリア教育・実践的職業教育	最先端の技術を学ぶ、洗練された美のプロフェッショナルを育成
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事、最先端の設備
(6)学生の生活支援	学生マンション案内
(7)学生納付金・修学支援	奨学金制度の充実
(8)学校の財務	決算概要報告
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の報告書
(10)国際連携の状況	留学生規定の整備
(11)その他	ボランティア活動、地域貢献

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法
(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(　　))
URL:　URL:https://www.miss-paris.ac.jp/osaka/info/
公表時期:　令和5年7月31日

授業科目等の概要

	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			伝承美論	華道、茶道	2年間	60	4	△	○		○			○	○
2	○	○		表現・芸術 文化論	トータルコーディネート、パーソナルカラー、教養、 サロン経営、中国語、ボディメイキング ※一部選択授業		165	11	○	△		○		○	○	○
3	○			ビジネス実務 基礎	英会話、サービスマナー検定対策、キャリア教育、 ICT教育		165	11	○	△		○		○	○	○
4	○			フェイシャル 総合理論	エステティック概論、エステティック機器学、 皮膚科学、関連法規、化粧品学		135	9	○			○		○		
5	○			ボディ 総合理論	解剖生理学、栄養学、ホメオスタシス、運動生理学		105	7	○			○		○		
6		○		関連技術理論	【ビューティセラピストコース】 メイク、ネイル、美容電気脱毛論、アロマテラピー、 ボディメイキング、リフレクソロジー		90	6	○			○		○	○	
					【ビューティアドバイザーコース】 メイク、ネイル、美容電気脱毛論、アロマテラピー、 ビューティカウンセリング				○			○		○	○	○
7	○			健康管理学	衛生消毒、救急法、美容痩身学、免疫学、スパ概論		60	4	○			○		○		
8	○			心理学	カウンセリング、コミュニケーション学、心身整理		60	4	○			○		○		
9	○			フェイシャル 実技理論	フェイシャル実技理論（カウンセリング学含む）		60	4	○		△	○		○		○
10	○			ボディ 実技理論	ボディ実技理論（カウンセリング学含む）		60	4	○		△	○		○		○
11		○		関連技術 実技理論	【ビューティセラピストコース】 メイク、ネイル、WAX脱毛、アロマテラピー、 ボディメイキング、リフレクソロジー		75	5	○		△	○		○	○	○
					【ビューティアドバイザーコース】 メイク、ネイル、WAX脱毛、アロマテラピー				○		△	○		○	○	○
12	○	○		フェイシャル 技術	フェイシャル基礎実技、フェイシャル専門機器実技、 フェイシャル専門マッサージ実技、 フェイシャル専門応用実技、フェイシャル専門実技 (メイクも含む) ※一部選択授業		360	12			○	○		○		○
13	○	○		ボディ技術	ボディ基礎実技、ボディ専門実技、ボディ専門応用実技 ※一部選択授業		300	10			○	○		○		○
14		○		関連技術	【ビューティセラピストコース】 脱毛実技、アロマテラピー、リフレクソロジー、 ボディメイキング、ネイル		210	7			○	○		○	○	○
					【ビューティアドバイザーコース】 ネイル、メイク、関連実技						○	○		○	○	○
15	○			校内行事	学術会議、ミスパリ祭、芸術鑑賞、球技大会		60	2	△		○	○	○	○		
16	○			サロン実習	オープンキャンパス、サロン実習、学内サロン		120	4			○	○	○	○		○
合計					16 科目			2085 単位（単位時間）								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件： 所定のカリキュラムを履修し、学校の定める各科目の出席必要時間（履修時間）を満たしている	１学年の学期区分	2 期
履修方法： 全科目履修	１学期の授業期間	26 週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。